



株式会社日本政策投資銀行

石田 涼華さん

東北大学大学院医学系研究科
(2022年度修了)
2019年度前期グローバルリーダー認定
2020年度前期から1年半にわたり
TGLCAとして活動。

自分の可能性を広げるきっかけは「TGLプログラム」でした

私がTGLプログラムを始めたきっかけは「何か自分の専門分野の勉強以外で頑張れることを見つけてみたい」という気持ちを抱いたことです。

大学1年生の4月にTGLプログラムの説明会に参加し、「これこそが自分の頑張れることだ!」と強烈に刺さったことを今でも覚えています。こうしてTGLの活動を始めましたが、この活動をして本当によかったと思える点が2つあります。第1に、積極的に物事に取り組む姿勢を得られたことです。

特にグローバルゼミは、プレゼンやディスカッションなど、自発的に取り組み受講生皆で作っていく授業であるため、自ら一生懸命に授業やその課題に取り組む姿勢が求められます。他の受講生と共に考え一緒に授業を作り上げていくことで、より楽しくより深い学びを得ることができ、同時に「まずは何事にも取り組んでみよう」とする姿勢を身につけることができました。

第2に、他学部、他学年、さらには他国の学生と一緒に授業を受け、自身の関わるコミュニティを広げることができたことです。自分とは異なるバックグラウンドや考えを持つ学生のコミュニティに所属することで、これまでにない価値観や選択肢に出会うことができました。物事に対する積極的な姿勢と仲間との関わりは私のキャリア形成にも大きな影響がありました。

TGLプログラムでの価値ある経験は、看護師以外のキャリアの可能性を考えるきっかけとなり、現在では政府系金融機関での銀行員というキャリアを歩んでいます。そして経験したことのない業務にもまずはやってみよう!という姿勢で仕事に取り組むことができている。何か熱中できることに一生懸命取り組み、自分の可能性を広げていく、これを叶えるのがTGLプログラムなのではないでしょうか。

ぜひ、皆さんには、TGLプログラムを通して様々なご自身の可能性を得られる体験をしていただきたいと思います!



東北大学大学院
理学研究科地球惑星科学専攻
修士課程2年

吉本 有秀さん

東北大学理学部
地球惑星物質科学科2025年卒業
2023年度前期グローバルリーダー認定

世界に開かれたコンフォートゾーンの創造

皆さんは「海外経験者って、なんかカッコよく見えるな」って思った経験ありませんか? 私はその要因が、彼らのコンフォートゾーンが広く深く進化している点にあると考えます。TGLプログラムは、私にこのコンフォートゾーンを進化させるきっかけとチャンスを与えてくれました。

漠然と海外に興味があった私は、TGLポイントの対象講義の中から、留学生と一緒に面白いネタを作って発表する国際共修授業を履修しました。当時、私は人に迷惑をかけないようにと消極的でした。その授業の最後、発表の場である「お笑いライブ」に、白塗りでオラフの仮装で登場した先生を見て、衝撃を受けました。「授業でここまでしてもいいんだ」と、自分のコンフォートゾーンの狭さを痛感し、その鷹揚さに戸惑いつつも、次第に他人のそれを撥ね付けることは、かえって相手に迷惑なのだ思うようになりました。本プログラムを通じて留学生の持つ、すでに洗練されたコンフォートゾーンから学び、私自身もそれを進化させました。

2025年にはインド、またJICAのインターンでニカラグアに渡航しました。現地で人々の自然に綻ぶ笑顔に囲まれ、自他に境のない国民性を感じられたことは、まさに私自身をさらに成長させる経験でした。ニカラグアでは、自らの専門性を活かしてスペイン語で現地の人々と協働しました。本プログラムの留学生とのグループワークの経験がまさに仕事に活かされた瞬間でした。

これらの経験を通じ培った日本という枠を超えて得た知見を活かし、将来は海外で専門性を活かした仕事をしたいと考えています。自身のコンフォートゾーンを進化させる取り組みは幼児の試し行動にも通じるような、終わりのなき挑戦でした。このTGLプログラムは履修者の価値観を変化させる力を秘めています。みなさんの挑戦をお待ちしております。

入学前グローバル学習プログラム

入学前グローバル学習プログラムは、AO入試等により東北大学に入学が決まった高校生を対象とした短期研修プログラムです。将来、グローバルに活躍できる若者の育成を目的としています。

2026年は海外派遣型プログラム2つ、国内派遣型プログラム1つを実施します。プログラムで定められた学習要件を修めた参加者は、東北大学入学後に単位取得が可能です。東北大学入学前にグローバル人材への第一歩を踏み出ませんか?



詳しくはこちら



TGLプログラムについて
詳しくはこちら:
<https://www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/global/about/>



海外留学・海外派遣
プログラム等については
「東北大学生のための
海外留学ガイドブック」を
ご覧ください。



東北大学 高度教養教育・学生支援機構
グローバルラーニングセンター(教育・学生支援部留学生課)
〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41 ☎022-795-4817 ✉tgl@grp.tohoku.ac.jp



グローバル時代にかがやく。

on campus overseas
3+1
サブプログラム

国際教養力養成
サブプログラム
自己と他者の文化・歴史などを
深く理解し、寛容・尊重の
精神を養う

行動力養成
サブプログラム
課題解決力、判断力、積極性、
実行力を養う

海外研鑽
サブプログラム
トップレベルの海外協定校などで
学びを実践する

語学力・
コミュニケーション力
養成サブプログラム
英語で読む・書く・聞く・話す力の
基礎、論理的にわかりやすく
伝える能力を鍛える

専門基礎力

TGLプログラムでは、進学・就職にかかわらず、将来のキャリア形成において必須の資質となる**専門基礎力**を基盤として、日本と海外の文化・歴史などを理解する**国際教養力**を養い、英語をはじめとする**語学力・コミュニケーション力**を高め、世界で活躍する**行動力**をバランスよく身につけることを目指します。



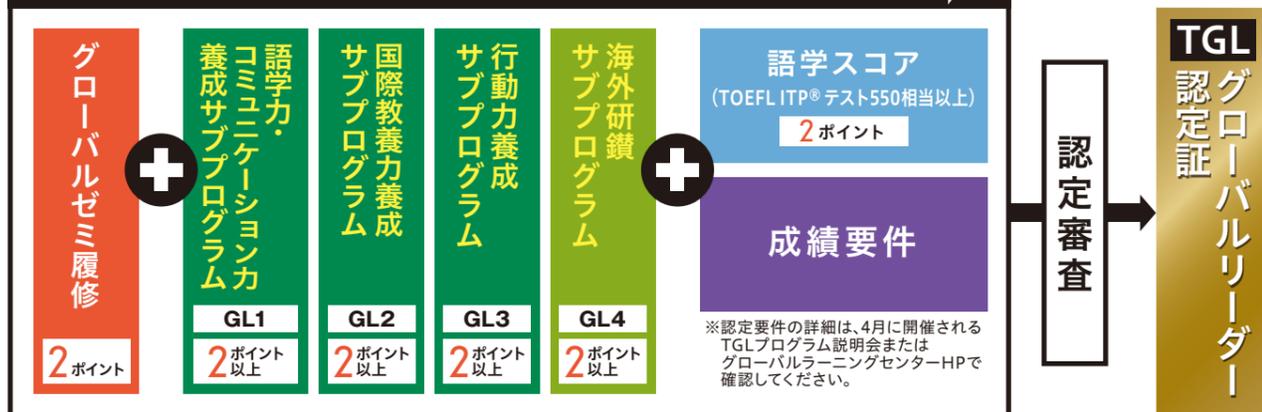
Tohoku University Global Leader Program 世界と向きあえる 存在になる

TGLプログラム(東北大学グローバルリーダー育成プログラム)は、さまざまな分野でグローバルに活躍する人材を育成するための**学部学生**を対象としたプログラムです。TGLプログラムでの学修の成果として、一定の条件を満たした学生には「**グローバルリーダー認定証**」が授与されます。

TGLプログラムの認定制度

グローバルに活躍できる人材として必要な能力をバランスよく身につけていくために、**TGLプログラムが指定する科目や海外留学プログラム**に参加して、TGLポイントをゲット!

合計**16**ポイント以上取得



TGLプログラム基幹科目「グローバルゼミ」とは

小人数制の参加型授業で、TGLグローバルリーダー認定のための基幹となる授業です。この科目を履修することでTGLプログラムに登録されます。互いに学ぼうという意欲の高いさまざまな学部の学生と交流ができます。

- 全学教育科目(国際教育)2単位
- 開講期:1/2/3セメスター
- 火曜または木曜5講時(1・3セメスター)、水曜5講時(2セメスター)



学生が主体的に議論やプレゼンテーションをする授業です。

TGLグローバルリーダー認定証授与式

TGLグローバルリーダーに認定された学生には、毎年2回開催される授与式にて認定証が授与されます。グローバルリーダー認定証は、在学中の海外留学や積極的な学びの姿勢などさまざまな取り組みが評価され、国際社会を牽引するリーダーとしての基礎的な能力を兼ね備えた学生であることを本学が認定した証明となります。

※認定された学生には認定証の他に、東北大学公認のオープンバッジ(デジタル証明書)が発行されます。

写真:2025年度第1回TGLグローバルリーダー認定証授与式の様子

TGLグローバルリーダー認定者に聞いてみよう!

TGLグローバルリーダーは年間の認定者数が30~40名という狭き門です。そんなTGLグローバルリーダーに2025年度前期に認定された山崎さんに、前年度認定者で現在はTGLCAとして活動する田野さんがお話を伺いました。



田野 裕雅(タノ ユウヤ)さん
文学部4年。私立開成高等学校卒業。カリフォルニア大学バークレー校への交換留学を経て、2024年にTGLグローバルリーダーに認定。2025年度からTGLCAとして活動中。



山崎 快(ヤマザキ カイ)さん
法学部3年。宮城県仙台第三高等学校卒業。海外研鑽:FLカリフォルニア大学リバーサイド校(2024春)、海外体験プログラム(German Intensive Course):ドルトムント工科大学(2025春)

田野:TGLプログラムに参加したことで、自分自身の考え方や行動面でのような変化がありましたか?

山崎:思考面では、日本から見た「海外」しか知らなかった自分が大きく変わりました。高校時代から留学に興味はあったものの、なかなか一歩を踏み出せずにいたんです。自分を強制的にコンフォートゾーンから出すためにTGLに参加したのですが、短期留学先のアメリカで日本の文化である茶道を紹介したり、折り紙を教えたりする中で、自分が当たり前と思っていた文化が喜ばれる体験をしました。そこから、「文化の違いは壁ではなく、理解し合う出発点なんだ」と感じるようになりましたね。行動面では、留学後、日本にいる留学生のニーズにも敏感になり、現在はヘルプデスクでの支援にも携わるようになりました。

田野:もしTGLプログラムに参加していなかったら、どんな大学生活になっていたと思いますか?

山崎:TGLがなければ、留学に行く勇気もなかったと思います。その結果、海外を経験する機会もなく、日本の視点だけで物事を捉える狭い視点のまま卒業していたかもしれません。将来のキャリアへの影響も大きく、もともと「難民政策」への関心から国家公務員を目指していたのですが、留学を通して多文化共生の難しさも知りました。そこから「日本にいる外国人の在留管理」にも関心が広がり、携わりたい政策などの将来像も具体的に変化しました。

田野:TGLプログラムへの参加を経て「グローバル」という言葉の捉え方はどのように変わりましたか?

山崎:私にとって「グローバル」は「共生」という言葉に近いです。すなわち、多様な文化が同じ空間に共存しつつ、お互いの文化の違いを尊重し合うことです。留学を経験して、文化同士が衝突する場面も目に

しましたが、それでもお互いに歩み寄り、丁寧に落としどころを探ることが大切だと感じました。グローバルは、遠い海外にある特別なものではなく、東北大のキャンパスにも自然に存在している「共生の場」なんだと思います。

田野:TGLグローバルリーダー認定およびTGLプログラム参加を考えている高校生や大学生の皆さんに、メッセージをお願いします。

山崎:勇気を出して一歩踏み出してほしいです。TGLプログラムに入ること、世界の見え方が大きく変わりました。「やりたけれど一歩踏み出せない」という気持ちがある人ほど、挑戦してみてください。グローバルリーダーを目指すかどうかに関わらず、TGLは自分のキャリアや価値観を変えるきっかけになるプログラムです。勇気を出して飛び込めば、自分の価値観を深化させたり、視野を広げるような経験が待っています。是非、自分の人生を変えるワンステップだと思って踏み出してみてください。



山崎さんは2025年度前期にTGLグローバルリーダーに認定。授与式では富永総長より認定証が授与されました。

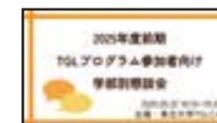
TGLCA(TGLコミュニティアンバサダー)とは

『Tohoku University Global Leader Program Community Ambassador』通称『TGLCA』は、東北大学グローバルリーダー育成プログラム(TGLプログラム)のリーダー認定を受けた有志からなる、本学生のリーダーシップ育成のための学生サポーターです。企画立案から実行まで成し遂げる経験がしたい、学部学年を超えた繋がりをもちたいと考える学生が集まり、グローバルに活躍するためのリーダーシップ獲得を目指す東北大生に向けた各種支援イベントの企画・運営や、学外に向けたTGLプログラムの広報を行っています。2025年度は、各分野でご活躍される本学卒業生をお招きした座談会イベントや、リーダー認定者同士の交流を目的とした同窓会を新たに企画し、リーダーシップを育みコミュニティを形成する機会を提供しました。

TGLCAについて詳しくはこちら
<https://www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/global/tgca/>



【定例会議】月に1度の定例会議では各自が議題を持ち寄り、イベントの考案・検討やSNSコンテンツの考案を行っています。



【学部別懇談会】現役グローバルゼミ生とリーダー認定者が交流できる懇談会を企画しました。参加学生からは「履修や留学を計画するうえで参考になった。」と嬉しいお声を頂きました。



【TGL同窓会】学期末のリーダー認定式に併せ、リーダー認定者限定の同窓会を企画しました。TGLプログラムを通して様々な経験を積んできた学生が集まり、互いに刺激を受け交流を深める機会となりました。